

大規模地震・津波に備えて 地震・津波対策訓練を実施

～災害対応能力向上、自治体支援や 関係機関との連携を図る～

中国地方整備局では、11月20日(火)に今後発生が予想される大規模地震に対応するため、地震・津波対策訓練を実施しました。

訓練は、午前8時に駿河湾から日向灘一帯の南海トラフを震源域とする大規模地震により中国地方整備局管内で最大震度6強の地震が発生し、瀬戸内海沿岸域に津波高さ1～2m程度の津波が到達することを想定しました。

発災直後に職員が勤務地に参集を行い災害対策本部を設置するとともに、戸田局長からの本部長指示で開始しました。



戸田局長による本部長指示

津波の到達に備え民間ヘリコプターを活用した情報収集に出動しました。

また、津波の到達までの限られた時間の中で、CCTVや関係機関などから情報収集、情報共有を図るとともに管内管理施設の被災状況を巡視等で速やかに把握し本部へ報告し関係者間で情報共有を図りました。

管内震度6弱以上の42自治体にリエゾン(情報連絡員)を派遣するとともに、広域支援の観点から津波による甚大な被害が発生した四国地方整備局管内にTEC-FORCE(緊急災害派遣隊)の派遣が指示されました。さらに、福山市内の浸水発生箇所、市から拠点施設を結ぶ交通ネットワークの啓開を要請されたとの想定で、TEC-FORCEを派遣しました。



本部災害対策室 対応状況



被災状況の報告

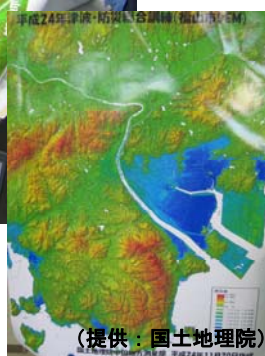


TEC-FORCEの出動報告

津波警報解除後に各地の被災現場から衛星通信車、Ku-SAT(衛星小型画像電送装置)を活用した被災状況などの報告及び自治体に派遣したリエゾンからの報告訓練、ヘリコプターからの津波による被災状況の把握訓練も併せて実施しました。また、気象庁、国土地理院、運輸局などの関係機関とも被災情報の共有を行いました。



関係機関との情報共有

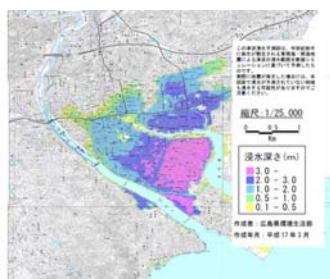


支部とのテレビ会議の状況



Ku-SATによる被災状況の報告

関係各班が連携し、啓開ルートを選定やチーム編成、啓開計画の策定を行うとともに特定緊急水防活動としてのTEC-FORCEの災害派遣訓練も併せて実施しました。



浸水エリア図
 (作成者：広島県環境生活部 H17.3)



啓開計画策定状況



啓開計画の本部長への報告

東日本大震災の教訓も踏まえ、今回の訓練では、関係機関、自治体などと連携した訓練(情報共有、リエゾン派遣、各種調整)を行うことで、より実践的な訓練を行うことができました。